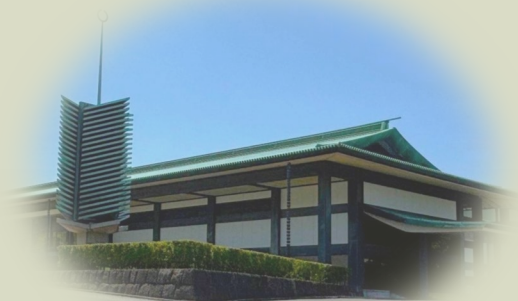


令和8年度
一般職・先輩職員からのメッセージ



宮内庁

Imperial Household Agency

Career

平成17年	入庁（Ⅱ種・行政） 長官官房総務課報道第一係
平成19年	長官官房秘書課総務係
平成21年	式部職儀式第一係
平成24年	侍従職庶務第二係
平成25年	侍従職庶務第二係主任
平成26年	侍従職専門職
平成27年	式部職外事第二係長
平成29年	式部職外事第一係長
平成30年	育児休業取得
令和2年	長官官房秘書課調査企画室法規係長 育児休業取得
令和5年	長官官房主計課予算決算第二係長
令和6年	長官官房主計課長補佐
令和7年	現職



長官官房主計課監査専門官

宮内庁における業務の魅力

こどもの頃から歴史好きで大学では日本史を専攻し、歴史に関わる仕事をしたいと思ったのが官庁訪問したきっかけですが、入ってみるとやはり、陵墓であったり雅楽であったり、歌会始のような宮中行事もそうですが、事務官でもさまざまな形で歴史に触れることが多い職場だと思います。

宮中行事や地方行幸啓の前例を調べるにも数年ではなく、10年単位で遡ることがあり、その記録がしっかり残っているのも他省庁では珍しいのではないのでしょうか。

これまでの業務で印象に残っていること

今となっては笑い話ですが、天皇皇后両陛下の外国御訪問に随行した際、御訪問先に先着する車を手配して一人で乗ったところ、現地の運転手が途中で「実はここから先は道が分からない」と言い出し（しかも高速道路で！）、コミュニケーション不足もあって迷子になったことがありました。携帯電話の位置情報を頼りに、次の交差点を右だ左だと2時間くらいかけて何とかたどり着いた＆間に合ったのですが、別の日には迎えの車が約束の場所に来なくて探し回っていたところ、警戒警備中の警察官に不審者に間違われ、必死に随行者であることを説明しました。無事に帰国できてホッとするとともに、自分の英語力不足を痛感しました。

Massage

学生の皆さんの中には、将来の働き方に不安を感じている方もいるかもしれません。限られた時間の中で工夫しながら働くことには難しさもありますが、働き方を見つめ直す良い機会にもなりましたし、その分やりがいや成長も実感できます。

宮内庁は、それぞれのライフステージに応じて働き方を選びながら活躍し続けることのできる職場だと思いますので、ご興味があってもある方にはぜひチャレンジしていただきたいと思います。

仕事をする上で心がけていること

私は「常に学び続ける姿勢」を大切にしています。

他の省庁と比べると小さい組織ですし、事務官であれば入庁すればこの仕事だけ、ということではなく、宮中行事や行幸啓の現場だったり裏方的な仕事だったり幅広く携わってきました。部署が変われば知らないことだらけですので、日々知識を深めながら、根拠のある判断ができるよう努力を続けたいと考えています。外国御訪問への随行がきっかけで、通勤時間にラジオ英会話を聞くことも日課になりました。

育児と仕事の両立のための工夫

家には小学生の男の子2人と保育園児の女の子がいて、今は妻がフルタイムで私が時短勤務をしています。若手の頃は業務をこなすことに精一杯で、時間が多少かかっていても気にしていなかったのですが、今は保育園の迎えの時間があるので退庁時間が決まっており、効率性をより意識するようになりました。

また、期日に間に合わないのは避けるべきですが、明日でも良いものは明日に回すなど、割り切ったタスク管理も必要かなと思います。家庭では家族の予定をスマホのカレンダー機能で共有しつつ、妻とどの家事を分担するか、忙しい時期はいつ頃なら残業できそうか話し合っています。



Career

- 平成25年 入庁（一般職 大卒程度試験・行政）
侍従職会計係
- 平成27年 侍従職庶務第一係
- 平成28年 侍従職庶務第二係
- 平成31年 長官官房官務課秋篠宮付
- 令和元年 皇嗣職渉外第二係
- 令和3年 長官官房用度課三の丸尚蔵館広報係長
- 令和5年 人事院職員福祉局職員福祉課勤務時間調査・
指導室勤務時間調査・指導専門官
- 令和7年 現職

上皇職会計係長

宮内庁を志望した理由

小さなころから絵画に関心があり、大学では美術史を専攻しました。在学中は毎週各地の美術館に足を運ぶなかで、将来は文化芸術に関わる仕事に就きたいと考えようになりました。

宮内庁には、正倉院宝物の保存管理を行う正倉院事務所、京都御所などを管理する京都事務所、歴史的資料の保存などを担う書陵部、皇室に代々受け継がれた絵画などを管理する三の丸尚蔵館（※現在は国立文化財機構へ移管）があります。これらの組織をはじめ、宮内庁が歴史や文化の保持、継承において重要な役割を担っていることに魅力を感じ、志望しました。

出向の経験を通じて

令和3年度には、東京オリンピック・パラリンピック競技大会組織委員会ヘリエゾンとして派遣され、開閉会式をはじめとする皇室対応に携わりました。官民間わず多様な経歴を持つ職員が集まる組織委員会では、仕事の進め方や考え方など、多くの刺激を受けました。

令和5年度からは人事院へ出向し、国家公務員の超過勤務縮減に向けた調査・指導を担当しました。人事院は国家公務員に関する様々な制度を所掌しており、新たな取組をまず院内で試してみるところという風土のもと、人事行政の最前線に身を置いたこの経験は、今後どのような職場においても活きる貴重な財産となりました。

やりがいや達成感を感じる瞬間

宮内庁では、一般参賀・園遊会・叙勲など、さまざまな行事が行われています。担当部署以外の職員も補助的な役割として行事に関わる機会があり、皇室の方々と国民の皆さまの温かいやりとりを目にするたびに、職員としての誇りややりがいを感じています。

また、令和元年の即位の礼（天皇陛下が位につかれたことを公に告げられる一連の儀式）や、令和2年の立皇嗣の礼（文仁親王殿下が皇嗣であることを内外に宣明される儀式）に携わり、すべての行事が無事に終了したときは、職員としてかけがえのない経験をしたという思いとともに、大きな達成感を覚えました。

仕事をする上で心がけていること

どんなに些末に思える業務であっても、それは自分の視座が低いからそう思うだけであり、組織全体から見れば意味のあることだと考え、一つひとつの業務を丁寧にを行うよう心がけています。資料の誤字脱字チェックや数字の確認など、地味な作業こそ丁寧にを行うことが、周囲からの信頼につながると考えています。

また、うまくいかないことや失敗があっても、それを自分のスキルアップや視野を広げるきっかけと前向きに捉え、次への糧として仕事に臨むよう心がけています。



Message

宮内庁には、行政機関らしい官房部局だけでなく、皇室のお身近なことを担当する部署、儀式や国際親善を担う部署、調査研究を行う部署、そして建築・園芸・調理・馬術などの技術を持つ職員が活躍する部署まで、多様な職員が共に働いています。そうした多様な専門性を持つ同僚と出会えることも、宮内庁ならではの魅力のひとつです。

宮内庁で皆さんと一緒に働ける日を、心よりお待ちしております。

Career

平成31年 入庁（一般職 大卒程度試験・行政）
書陵部陵墓課陵墓管理係
令和4年 内閣官房内閣サイバーセキュリティ
センター内閣官房副長官補付
令和5年 長官官房秘書課
令和6年 育児休業取得
令和7年 現職

長官官房用度課庶務係

宮内庁における業務の魅力

宮内庁における業務の魅力は、専門性の高い業務に深く携われること、部署異動を通じて多彩な業務を経験できることだと思います。私は現在まで3部署を経験し、陵墓課では研究職の方々と共に業務に携わり、皇室の方々のお墓である陵墓を管理のため視察する貴重な経験もさせていただきました。秘書課、用度課では、デスクワークを中心に庶務関係業務を行い、課内全般の調整等を行っています。

他にも様々な部署があり、業務の幅の広さは宮内庁ならではの魅力だと感じています。多様な業務を経験して成長したい方には是非おすすめしたい職場です。

仕事をする上で心がけていること

担当1年目は、少しでも早く業務を理解できるよう前任者や過去の資料から積極的に学ぶ姿勢を大切にしています。また、特に現在担当している庶務業務は自身の判断一つが周りの方々に影響を与える可能性があるため、責任を持って業務に取り組むことを意識しています。

2年目以降は担当業務の範囲だけでなく他の係で交わされている業務の会話やメールなどの情報についても関心を持ち、課内全体の動きに目を向けるよう心がけてきました。そうした積み重ねを通じて、自分の手がけられる業務の範囲を無理せず少しずつ広げられるようにしています。

育児と仕事の両立のための工夫

令和5年に第一子が誕生し、約1年半育児休業を取得しました。復職後は育児時間や休憩時間の短縮制度等を活用しながら保育園の送迎などを行っています。また、子どもの体調不良で急なお休みをいただくことがあるため、業務については期限内に間に合うよう余裕を持ったスケジュールを立て、計画的に進めることを心がけています。

夫婦ともに実家が遠方で頼れる人が身近にいない状況ですが、充実した各種制度や復職後の職場の皆さんの温かいご理解・ご協力のおかげで仕事と育児を無理なく両立することができ、現在の環境に改めて感謝しています。

出向の経験を通じて

私は入庁4年目に内閣サイバーセキュリティセンター（現：国家サイバー統括室）に出向し、各省庁と協議を重ね、政府機関におけるデジタル改革に必要な人材を確保・育成するための方針作成等を行いました。

当初はセキュリティの知識がほとんどない中で異動に不安もありましたが、他省庁や民間企業等からの出向者の方々と共に業務の課題へ取り組むうちに、仕事を達成するやりがいや楽しさを実感し、視野が広がったと感じています。

今後は宮内庁でも様々な業務にチャレンジし、自身の可能性を広げていきたいと思っています。

Message

宮内庁の仕事内容に関心を寄せていただきありがとうございます。宮内庁の業務は多岐にわたり、幅広い分野で経験を重ねることが出来ます。私自身、入庁前は自分に務まるだろうかと感じていましたが、実際に働く中で日本の歴史や文化に深く携わりながら皇室をお支えする仕事に大きな責任とやりがいを感じています。官庁訪問などで是非実際に職場の雰囲気に触れ、選択肢の一つとして興味を持っていたいただければ幸いです。



Career

令和4年 入庁（一般職 高卒者試験・事務）
多摩陵墓監区事務所庶務係
令和6年 管理部大膳課経理係
令和8年 現職



管理部大膳課主膳係

宮内庁を志望した理由

実際に天皇皇后両陛下お始め皇族の方々とお会いしてみたい
と思い、学生の頃に行った一般参賀がきっかけです。一般参賀
に参加してみて、国民の皇室を思う気持ちの一端を拝見し、また、
現場の温度感などを肌で感じ、このような行事に携わる宮内庁と
いう仕事に興味を持ちました。

その後、公務員試験を受ける中で宮内庁へ官庁訪問に赴き、
上司や諸先輩方のお仕事についてお話を伺い、他省庁ではな
かなか経験できないようなやりがいのある仕事でありつつ、充実し
た福利厚生があることによって働きやすい環境であると感じたため、
宮内庁を志望しました。

宮内庁における業務の魅力

宮内庁では、公務員らしい会計などのデスクワークを中心とした
部署だけでなく、広大な土地の整備といった現場職のような部署
や、園遊会などの賓客を接客する特殊な仕事をする部署がある
ため、同じ組織でも部署によって全く異なる仕事ができることが魅
力だと思います。

また、一見違うことを扱っているような部署でも、行事などの際
には数多くの部署が互いに協力しながら職務を遂行します。そして無
事に行事が執り行われたときに職員の一休感を感じられることもあ
り、それも魅力の一つではないかと思えます。

やりがいや達成感を感じる瞬間

現在、勤務している管理部大膳課という部署は、天皇皇后両陛
下並びに愛子内親王殿下の御日常の御食事だけではなく、宮中
晚餐や天皇誕生日、園遊会などの宮内庁を挙げての大規模な行
事にも携わっています。また、行事では国内に限らず、国賓・公賓と
いった諸外国の賓客などの接客をしています。そのため、緊張する
場面はありますが、非常にやりがいを感じます。

また、行事が終わった後に、側近部署を通じて天皇皇后両陛下
から職員へ労いのお言葉をいただくこともあり、その際には大きな達
成感を感じ励みにもなります。

仕事をする上で心がけていること

皇室の御活動をお支えすることが宮内庁職員の大切な職務
の一つであり、それらが国民への奉仕につながっていると考えていま
すので、公務の信用失墜とならないように法令を遵守し、公私問
わず自らの行動を省みるように心がけています。

また、社会で働く以上一人で行動することは少なく、組織の一
員として働くことが基本であるため、部局内だけでなく他部署も含
め積極的にコミュニケーションをとることを重視しています。情報
の共有を密にすることが、滞りのない職務遂行をする上で重要
な能力なのかと思います。

Massage

宮内庁は自然に囲まれた場所で歴史を感じつつ、同僚たちと
切磋琢磨し、頼りになる上司・先輩職員と一緒に仕事ができる、
非常にアットホームな職場です。宮内庁がどのような仕事をして
いるのか、なかなかイメージがつかない方もいるかもしれませんが。
宮内庁という場所で行う仕事は、この場で紹介したもののだけでは
ありません。非常に多種多様な働き方がありますので、興味を持
たれた方はぜひ宮内庁の官庁訪問へお越しください。

